福生、米軍ハウスから発信する地域活性プロジェクト

特定非営利活動法人 FLAG［東京都福生市］

団体設立の経緯

NPO FLAGは、東京都の西多摩地区にあり米軍横田基地を有する街「福生（ふっさ）」で60年以上前に建てられた米兵用住居「米軍ハウス」を拠点に、郊外地域だからこそ持ち得る独自の魅力を引き出し東京都心では得られないライフスタイルを定義、発信するための街づくりNPOです。「LOCAL STANDARD/ローカルスタンダード」というコンセプトを掲げ、2013年の春より活動をスタートさせました。団体をスタートさせた2013年に、解体が予定されていた米軍ハウス一戸を自分たちで修復する事で保持することにしました。以降、「米軍ハウス」がローカルで暮らす際のライフスタイルのアイコンとなる様、FLAGの事務所兼イベントスペースとするなど福生での様々な活動の拠点として活用しています。

地域概要

福生は、東京都心から約40kmに位置する東京都の多摩地域にあり、街の約3分の1を占めるアメリカ空軍横田基地で有名なまちです。多摩川など自然にも恵まれた郊外の住宅都市として、また横田基地に面する商業都市として発展して来ましたが、人口は1991年（平成3年）の6万人をピークに減り続け、東京都の中でも人口減少の著しい地域になっています。
市では近年「都市計画マスタープラン」の改定を行い、“福生独自の景観の活用と、福生の顔となる景観づくり”を提言しました。横田基地に沿った国道16号エリアに立ち並ぶ商店で構成された商店街（通称BASESIDE STREET）の国際色溢れた異国情緒のある街並や、米軍ハウスなど歴史のある住宅建物を街の文化財産として見直し、活用する事を進めています。その16号沿いの商店街は、約60年前には、横田基地の米兵をターゲットにした商店が軒を並べていましたが、除々に海外のインポート商品を買い求める日本人へと客層が変化していきました。そして、インターネットの普及などでどこに居ても同じモノが手に入る様になった現在、集客力は一時の勢いを失っています。

設立年月 ･･･2012 年 2 月
法人化した年月 ･･･2013 年 3 月
メンバー数 ･･･10 名
代表者名 ･･･ 佐藤志織（さとう・しおり）
連絡先 ･･･ 〒197-0003　東京都福生市熊川 1068-26　東京ハイツ P-9 号
☎ 042-551-0402　npoflag@gmail.com
http://www.npoflag.com
http://www.facebook.com/NPOFLAG
団体のミッション ･･･NPO FLAG は、東京郊外の米軍横田基地を有する街、福生に残る「米軍ハウス」を拠点に、ローカルが持つ都心にはない独自の魅力を引き出し、新たな価値を「LOCAL STANDARD/ ローカルスタンダード」として提唱する街づくり NPO です。

活動に至った理由や背景

「福生」は横田基地がありアメリカの文化が多く流入した事で、日本に様々なカルチャーを生み出してきた街と言えます。その中でも当時の米兵用住居として造られた“米軍ハウス”は、日本に返還された60年代後半から、異国情緒溢れる景観と安い賃料だったことから若いクリエイターが多く移り住み、70年代以降に様々な文化を生み出す発信基地の役割を担ってきました。しかし、街一面に立ち並んでいた米軍ハウスも築60年以上経った今、取り壊しが進み数百棟を残すのみとなっています。

3.11の震災以降、コミュニティの重要性が全国的に見直されてきた事や、福生の人口減少など街の問題や課題が見えて来ました。こういう時に、今はなくなりつつある米軍ハウスという住空間や、福生という独自の地域性がもたらしてきた住み方/暮らし方を改めて見つめ直し、再定義する事が、都心にはない郊外である福生独自の価値として街の財産になりえるのでは、との思いから街づくりNPOの設立を構想しました。

多角的な活動展開のために、「福生」と「米軍ハウス」だけにとどめず、活動のポイントを農業地域である隣町の瑞穂町にも広げています。

米軍横田基地／第五ゲートと目と鼻の先にFLAGHOUSEがある米軍ハウスエリアがあります。

活動の内容と成果

地域イベントサポート

FLAGでは、福生で行われる様々なカルチャーイベントのサポートを行いました。

①いまここ祭り

2014年4月26 日（土）、27日（日）

食や環境、エコロジーをテーマに東京都多摩川中央公園（のびのび広場）にて開催された「いまここ祭り」の来場者にアンケートを実施。2日間で約50組に対して調査を行いました。また、副理事の田中がイベント当日の司会、進行を担当しました。

右:いまここ祭り
下:バナナハウスパーティ

②バナナハウスパーティ

2014年9月6日（土）、7日（日）

毎回数十万人の来場者を呼んでいる福生のビッグイベントで、横田基地を解放して行われる「友交祭」に合わせ、基地ゲート近くに位置する、FLAGの拠点であるハウス郡のエリアで「バナナハウスパーティ」（副理事/田中主催）を開催しました。FLAGではメンバーである酪農家/清水所有の農地を利用した畑で育てたジャガイモ（男爵/キタアカリ/メイクイーン/インカの目覚め）を使用したポテトフライ「ACE OF POTATO」を提供した他、清水牧場が生産供給する東京牛乳を使用したジェラートのカップアイスを、清水牧場のブランドメイドとして販売しました。

https://www.facebook.com/FussaBananaHouse

③インターナショナルフェア

2014年9月28日（日）

福生市商工会主催の今年で26回目を迎える16号商店街イベント「インターナショナルフェア」。

今回は副理事/田中が企画と運営を担当しました。FLAGでは会場演出のコンセプトイメージの提案や物品提供を行い、当日は飲食ブースとしてBBQグリルで焼いたピザを提供する「ACE OF PIZZA」を出店しました。

https://www.facebook.com/basesidestreet16

FLAG自主企画
「ウェストランド・ポテトファーム」

福生の隣町、瑞穂で酪農業を営み、FLAGメンバーでもある清水の「WESTLAND FARM /清水牧場」の農地を提供いただき、ジャガイモを種付けし生産しました。

①種付け作業
2014年4月8日（火）

ジャガイモ畑をスタートするにあたり、品種を「男爵芋」「メイクイーン」「キタアカリ」「インカの目覚め」の4種用意し、種付けを行いました。

②POTATO HARVEST PARTY
2014年7月6日（日）

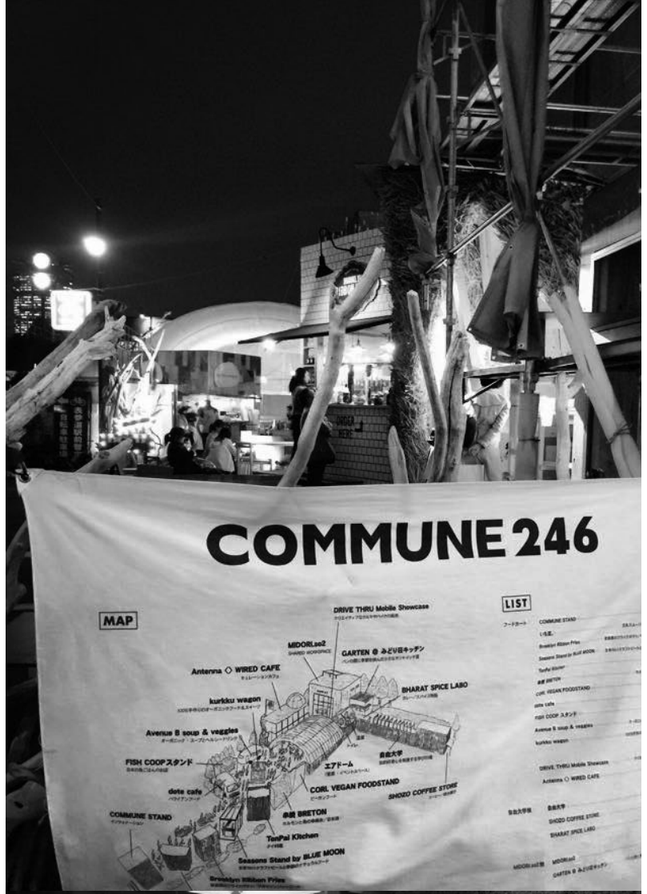
収穫時には参加者を募り、収穫祭イベントを実施しました。収穫後は、穫れたてのジャガイモをその場でベイクドポテトにして参加者に提供しました。

③福生飲食業者と試作/試食会
2014年8月4日（月）

穫れたジャガイモの活用方法を、福生～都内で飲食店を経営する「タルタルジャパン」斉藤氏に相談を持ちかけました。トルコのB級グルメ「クンピル」などをご提案頂き、試作、試食会などを行う事で活用方法の可能性を探りました。

④福生のイベントで提供
2014年9月6日（土）、7日（日）

地域イベントサポートの項でも触れましたが、穫れたジャガイモを使用したポテトフライを「バナナハウスパーティ」で提供販売。ファンドレイジングに繋げました。



米軍ハウス関連活動
FLAG 企画

米軍ハウスとそのライフスタイルを広く伝えるために、メディアとの連携や、独自の事業、イベントなど様々な施策を行いました。

① SAYAMA HOUSE
リーシングサポート

2014 年 6 月〜

米軍ハウスをハード的側面から捉え、実際に建築まで出来るFLAGの建築部門として立ち上げたDependent Housing Engineer Section（副理事/若林）が施工を担当し、2014年に完成した米軍ハウスのリプロダクト「SAYAMA HOUSE /サヤマハウス」。

FLAGでは完成後のリーシングやメディアへの露出など、情報発信の面でもサポートを行いR-STOREやLIVESなど様々なメディアで取り上げていただく事で、多くの反響がありました。

②撮影スタジオ／レンタルスペース運用

2014 年 4 月〜

米軍ハウスを撮影スタジオとして活用したレンタルスペース事業を試験的にスタートさせ、アパレル雑誌の撮影や、TVの撮影に使用していただく事で、ファンドレイジングに繋げました。

雑誌:男性向けファッション/ライフスタイルマガジン　2nd（セカンド）2014年4 月

雑誌:男性向けファッションマガジン　WOOFIN'（ウーフィン）2014年7 月

TV:「あなたの知るかもしれない世界」再現ドラマ　2015 年 1 月

③トークショー
" 米軍ハウスとコミューンとは "
LOCAL STANDARD を考えよう。

2015 年 4 月 16 日（木）

青山のCOMMUNE246 /コミューン246内のWIRD CAFE（ワイアードカフェ）でJCDのサポートの下、開催。FLAGの活動と米軍ハウスの魅力についてトークショー形式で紹介しました。

まだ米軍ハウスを実際に体感した事のない都内の方々に、ローカルの魅力を感じ取っていただきました。定員40名の限定イベントでしたが、多くの問い合わせがあり、改めて米軍ハウスの注目度を再確認しました。

④ワークショップ
LOCAL STANDARD COLLEGE

2015 年 5 月 5 日（水）

米軍ハウスに関するトークショー形式のワークショップと、ライフスタイルを体感してもらう為のケータリング形式のBBQの2部構成で“LOCAL STANDARD TALK 2015”と題したイベントを開催しました。トークショー形式のワークショップではプロジェクタで米軍ハウスの歴史、時代ごとに意味合いを変えて行く存在の変貌から、日本の文化にどの様に影響を与えてきたかなどを解説し、実際に今そこに暮らす人たちの生の声を紹介しました。BBQケータリングではそのライフスタイルを体感してもらう為、参加者自らが火をおこす所からスタート。福生で当時流れていたであろう音楽や、福生にゆかりのある音楽を楽しみながら、米軍ハウスでの生活や空気感を体感してもらいました。

今後の予定

FLAGの活動拠点である福生の隣町、農業が盛んな瑞穂町で農業を営んでいる若い世代の農家さんたちと連携したファーマーズマーケットを企画中。今年の3月にオープンした昭島モリパークアウトドアビレッジ内のクライミング・ヨガスタジオ＆オーガニックカフェ『PLAY』とのコラボレーションにより、6月末より同施設内で“GO TO LOCAL MARKETS”を企画運営。毎月、第2、第4週の土日の定期開催を予定しています。

今後は、モリパークアウトドアビレッジ内の飲食店への瑞穂野菜の卸しなども計画中で、東京在住の方にもあまり知られていない西多摩の農産物を広く知らせて行きたいと考えています。

また、米軍ハウスでのライフスタイルを体感しながら、瑞穂で農業体験が出来るワークショップを企画中。福生と瑞穂それぞれの持つコンテンツ力を活かした施策を打ち出して行きます。